

徳島ガラススタジオのあり方検討会議からの意見について

徳島ガラススタジオのあり方検討会議は、徳島ガラススタジオの今後のあり方について、各委員の専門的見地から意見を述べるとともに、様々な観点から協議、検討を重ね、次のとおり意見を集約し、取りまとめた。

当検討会議としては、徳島市がこの意見を参考とし、徳島ガラススタジオのあり方の最終的な方向性を検討していただくことを希望する。

徳島ガラススタジオは、施設設置後 36 年が経過しているが、入館者が減少傾向にあることや徳島市内にガラス産業や関連する企業がほとんどないことなど、徳島市においてガラス文化が定着していない状況である。

これまでガラス文化の定着に向け、様々な事業に取り組んだことにより、文化的な価値は一定あったものの、入館者数等の増加に繋がっておらず、講座受講者も 10 年以上受講している人が 6 割以上を占めるなど、一部の人が長年受講しており固定化がみられる。

また、今後、施設の老朽化に伴う施設・設備の修繕に多額の費用がかかることが見込まれることや収支状況の悪化等の課題が多いことから、これまでと同様の運営を継続していくことはかなり難しい状況である。

このことから、施設の廃止を視野に入れた検討を行うことが望ましい。

以 上